

## 中小企業動向調査（2022年3月末日基準）

この調査は、富山県内企業316社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、2022年1月～3月の実績、2022年4月～6月の見込み、2022年7月～9月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
316（656）
うち、製造業55社、非製造業261社

調査時期：2022年4月上旬

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2022年5月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2022年春」によると、「富山県の景気は、持ち直しつつある～（抜粋）個人消費は足元では持ち直しの動きが見られる。当地製造業の生産は、持ち直しの動きが一服している。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械は増加している。電気機械は、足踏み状態となっている。医薬品を中心とする化学は、横ばい圏内の動きとなっている。金属製品は、持ち直しの動きが見られている」とあります。今回実施したアンケートにおいては、10～12月においては一旦回復傾向にあった企業動向が、製造業、非製造業とも悪化傾向にあります。足元ではウクライナ情勢や、原材料高による仕入れへの影響や利益への影響などの不透明感もあり、2022年4月以降の予想についても悪化傾向が続く見通しとなっています。

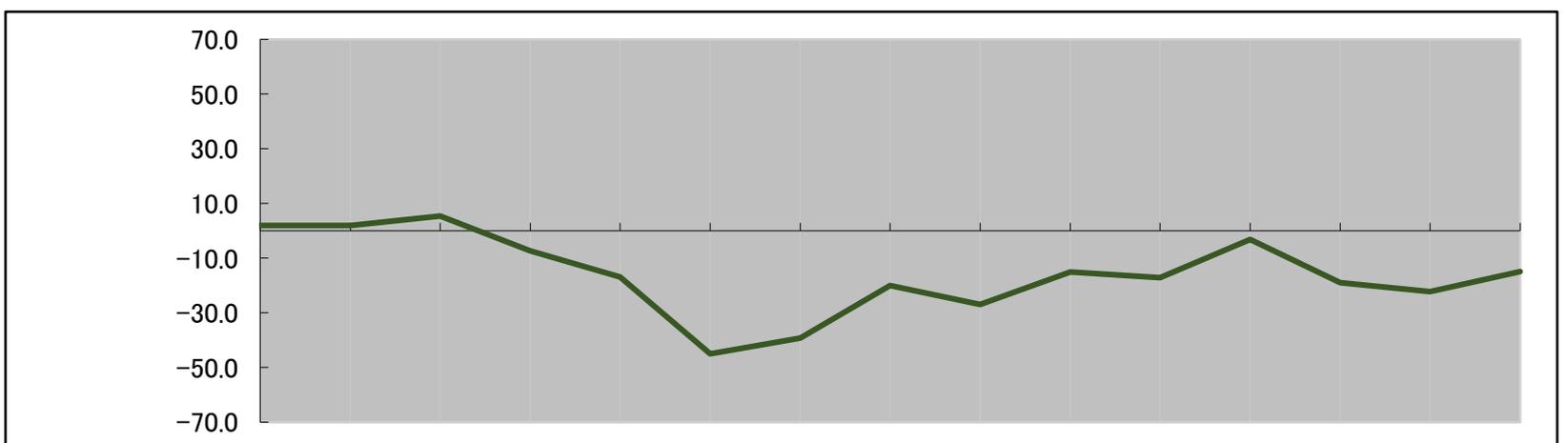
### I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

（%）

見込 予測

種別	期別	2019				2020				2021				2022		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	19.3	21.3	22.7	14.8	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	22.0	17.4	10.4	10.8
普	通	63.2	59.2	59.9	63.1	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	52.8	46.2	57.0	63.6
悪	い	17.5	19.4	17.4	22.1	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	25.2	36.4	32.6	25.6
D . I .		1.9	1.9	5.4	-7.4	-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-3.2	-19.0	-22.2	-14.9



- (1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見みると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、今回調査の1-3月期ではマイナス19.0となり、前回より15.8ポイント悪化しました。先行きについては、4-6月はマイナス22.2と更に悪化する予想です。

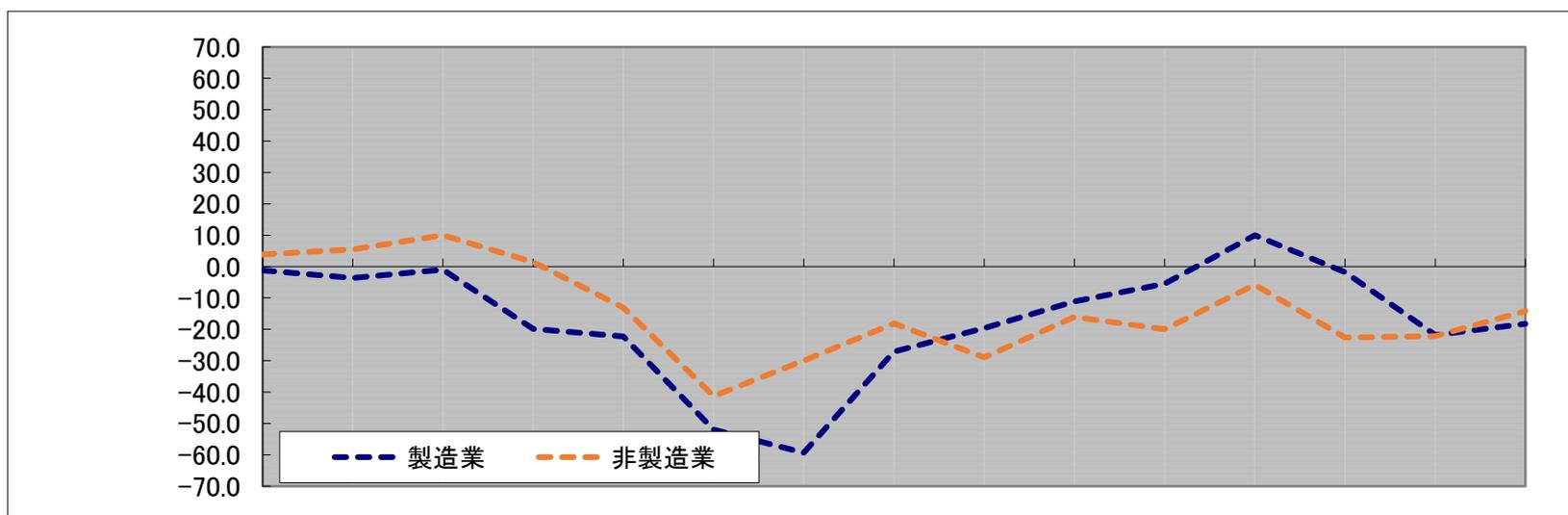
## I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
		2019				2020				2021				2022		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	16.7	21.4	22.5	11.9	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	36.7	30.9	12.7	9.1
普	通	65.5	53.6	53.9	56.4	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	36.7	36.4	52.7	63.6
悪	い	17.9	25.0	23.5	31.7	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	26.7	32.7	34.5	27.3
D . I .		-1.2	-3.6	-1.0	-19.8	-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	10.0	-1.8	-21.8	-18.2

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
		2019				2020				2021				2022		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	21.1	21.3	22.9	16.8	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	19.2	14.6	10.0	11.1
普	通	61.7	63.0	64.3	67.8	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	55.9	48.3	57.9	63.6
悪	い	17.2	15.7	12.9	15.4	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	24.9	37.2	32.2	25.3
D . I .		3.9	5.5	10.0	1.4	-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-5.8	-22.6	-22.2	-14.2



- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業は業況判断指数D. I. は マイナス1.8と前回より11.8ポイント悪化しました。非製造業ではマイナス22.6と前回より16.8ポイント悪化しました。ウクライナ情勢、原材料高、オミクロン株の流行を背景に製造業・非製造業とも2022年4月以降も悪化傾向が続きます。

## II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	21.1	25.6	25.8	18.6	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	28.4	16.8	12.7	13.0
横ばい	56.3	52.1	56.7	52.5	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	45.3	49.1	60.1	65.8
減少	22.5	22.3	17.5	28.9	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	26.3	34.2	27.2	21.2
D . I .	-1.4	3.3	8.3	-10.3	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	2.1	-17.4	-14.6	-8.2

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

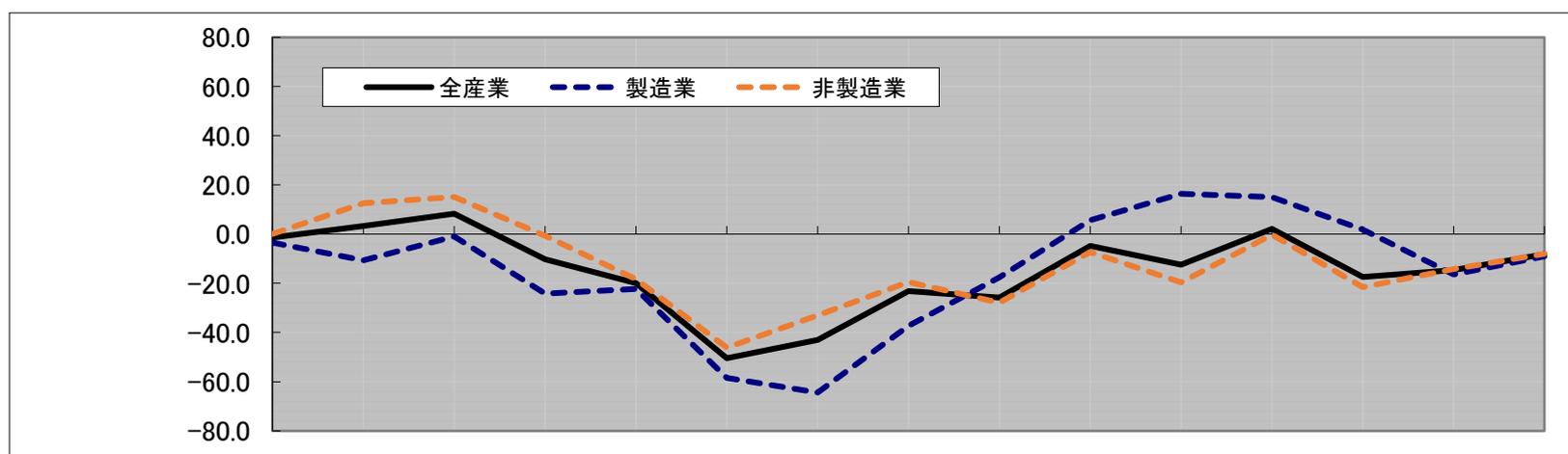
	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	17.6	21.4	22.8	16.2	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	40.0	27.3	9.1	10.9
横ばい	61.2	46.4	53.5	43.4	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	35.0	47.3	65.5	69.1
減少	21.2	32.1	23.8	40.4	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	25.0	25.5	25.5	20.0
D . I .	-3.5	-10.7	-1.0	-24.2	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	15.0	1.8	-16.4	-9.1

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増加	23.4	28.3	28.1	20.3	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	26.2	14.6	13.4	13.4
横ばい	53.1	55.9	59.0	58.7	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	47.3	49.4	59.0	65.1
減少	23.4	15.7	12.9	21.0	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	26.5	36.0	27.6	21.5
D . I .	0.0	12.6	15.1	-0.7	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-0.3	-21.5	-14.2	-8.0



- (1) 売上高D. I. は全産業ではマイナス17.4となり、前回より19.5ポイント悪化しました。製造業と非製造業に分けてみると、製造業では1.8と若干プラスとなっていますが、前回比でマイナス13.2ポイントと大幅に悪化しました。非製造業でもマイナス21.5と前回比21.2ポイント悪化しました。先行きについては、全産業において4-6月にマイナス14.6と悪化予想です。

### Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
不足	2.6	2.6	3.5	2.8	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	12.3	13.3	13.9	13.9
適正	89.5	89.7	90.7	88.1	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	84.2	82.0	82.9	84.2
過剰	7.9	7.7	5.7	9.2	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.5	4.7	3.2	1.9
D . I .	-5.3	-5.1	-2.2	-6.4	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	8.8	8.5	10.8	12.0

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

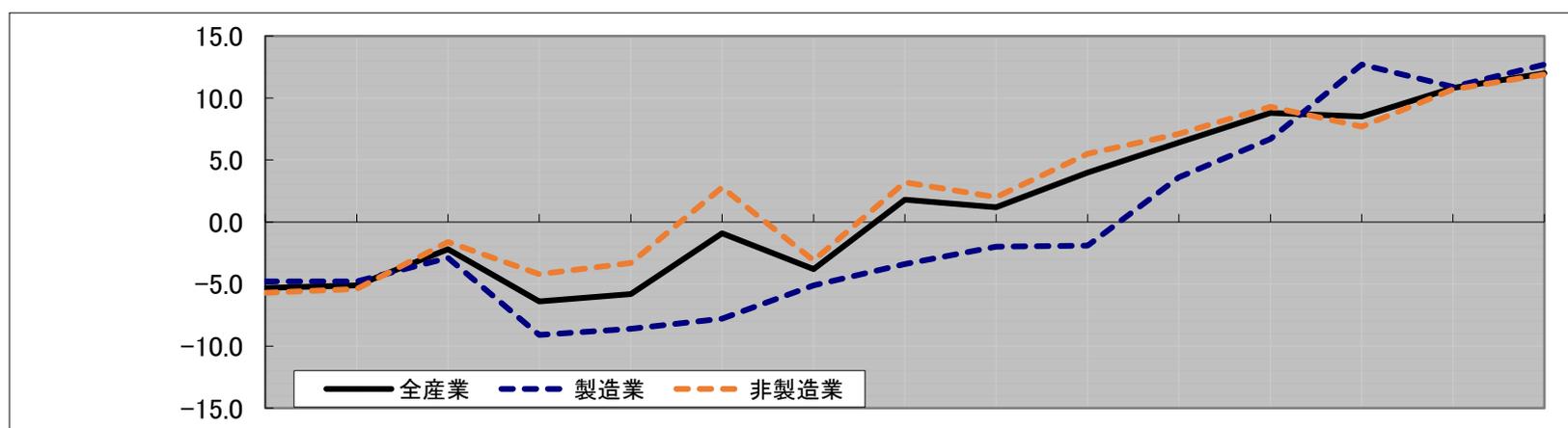
	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
不足	4.8	3.6	4.9	3.0	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	10.0	16.4	12.7	14.5
適正	85.7	88.1	87.3	84.8	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	86.7	80.0	85.5	83.6
過剰	9.5	8.3	7.8	12.1	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	3.3	3.6	1.8	1.8
D . I .	-4.8	-4.8	-2.9	-9.1	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	6.7	12.7	10.9	12.7

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
不足	0.9	1.8	2.4	2.5	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.8	12.6	14.2	13.8
適正	92.5	91.0	93.6	90.8	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.7	82.4	82.4	84.3
過剰	6.6	7.2	4.0	6.7	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.5	5.0	3.4	1.9
D . I .	-5.7	-5.4	-1.6	-4.2	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	7.7	10.7	11.9



- (1) 1-3月の製品在庫水準D. I. はプラス8.5と在庫不足の状況が続いています。2020年10-12月より上昇傾向が続いており、在庫不足の状況が拡大しています。製造業はプラス12.7と前回より6.0ポイント上昇しました。非製造業はプラス7.7と前回より1.6ポイント下降しました。

#### IV. 資金繰り状況

資金繰り状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
ゆるい	12.2	13.3	10.7	11.5	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	13.4	15.8	13.6	11.1
普通	76.5	78.2	81.8	76.6	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	70.8	65.2	68.4	70.6
厳しい	11.3	8.5	7.4	11.9	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	15.8	19.0	18.0	18.4
D . I .	0.9	4.7	3.3	-0.4	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-2.4	-3.2	-4.4	-7.3

資金繰り状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

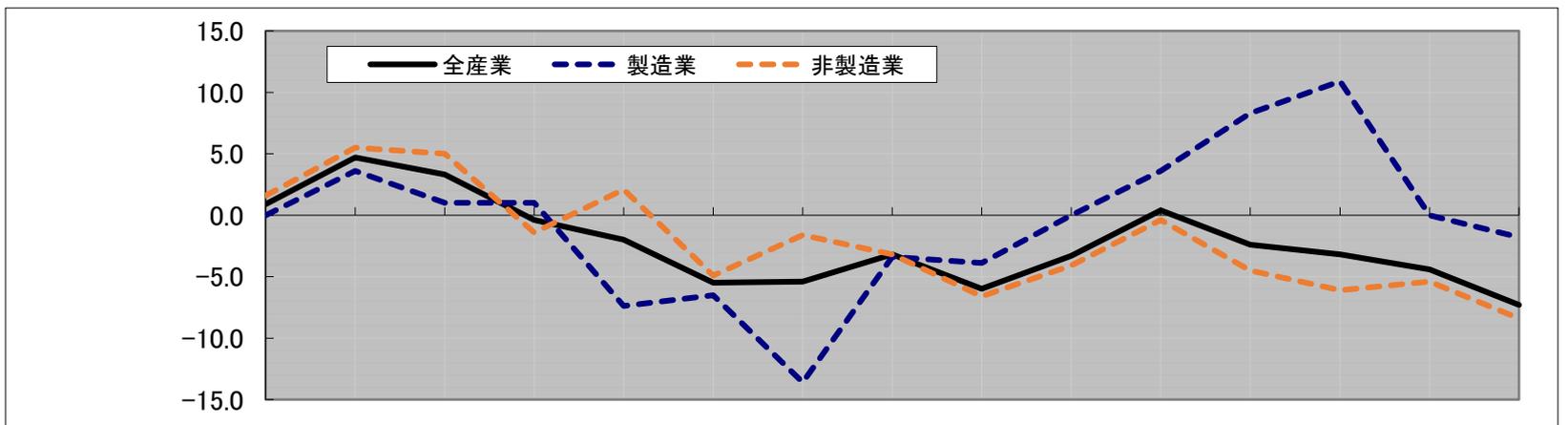
	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
ゆるい	10.6	13.1	11.8	13.9	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	20.0	21.8	16.4	12.7
普通	78.8	77.4	77.5	73.3	77.8	62.3	72.9	66.1	72.5	70.4	67.3	68.3	67.3	67.3	72.7
厳しい	10.6	9.5	10.8	12.9	14.8	22.1	20.3	18.6	15.7	14.8	14.5	11.7	10.9	16.4	14.5
D . I .	0.0	3.6	1.0	1.0	-7.4	-6.5	-13.6	-3.4	-3.9	0.0	3.6	8.3	10.9	0.0	-1.8

資金繰り状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
ゆるい	13.3	13.4	10.0	9.8	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	12.1	14.6	13.0	10.7
普通	75.0	78.7	85.0	79.0	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	71.2	64.8	68.6	70.1
厳しい	11.7	7.9	5.0	11.2	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	16.6	20.7	18.4	19.2
D . I .	1.6	5.5	5.0	-1.4	2.1	-4.9	-1.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-4.5	-6.1	-5.4	-8.4



- (1) 1-3月の資金繰り状況D. I. は全産業で0.8ポイント悪化しています。製造業は2.6ポイント改善の10.9と4四半期（1年間）に亘り改善基調が続いています。非製造業は1.6ポイント悪化のマイナス6.1と、2019年10-12月よりマイナス基調が続いています。4-6月、7-9月の資金繰り状況の見通しは全産業でいずれも悪化を予想しています。非製造業が引き続き悪化基調であるのに加えて、改善とプラス基調を維持してきた製造業が悪化に転じ7-9月からマイナスになる予想となっています。

## V. 利益状況

利益状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒字	46.9	50.5	48.3	45.9	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	42.9	36.7	30.7	31.3
収支トントン	41.2	32.9	37.2	40.1	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	33.2	29.4	42.1	47.5
償却後赤字	11.8	16.7	14.5	14.0	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.9	33.9	27.2	21.2
D . I .	35.1	33.8	33.9	31.8	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	19.0	2.8	3.5	10.1

利益状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

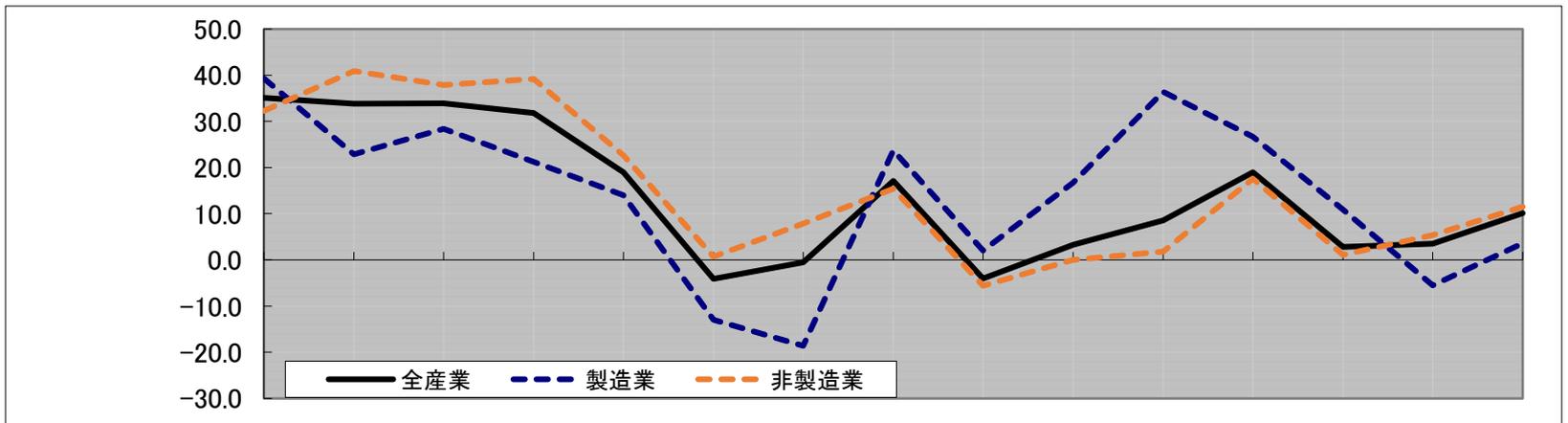
	2019				2020				2021				2022		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒字	50.0	44.6	46.1	38.4	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	55.0	41.8	21.8	20.0
収支トントン	39.3	33.7	36.3	44.4	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	16.7	27.3	50.9	63.6
償却後赤字	10.7	21.7	17.6	17.2	30.8	45.5	44.1	30.5	37.3	25.9	18.2	28.3	30.9	27.3	16.4
D . I .	39.3	22.9	28.4	21.2	14.0	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	26.7	10.9	-5.5	3.6

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2019				2020				2021				2022		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒字	44.9	54.3	50.0	51.0	41.8	34.3	37.8	42.1	29.4	32.1	34.7	40.6	35.6	32.6	33.7
収支トントン	42.5	32.3	37.9	37.1	39.0	32.2	32.3	31.2	35.5	35.8	32.4	36.4	29.9	40.2	44.1
償却後赤字	12.6	13.4	12.1	11.9	19.2	33.6	29.9	26.7	35.0	32.1	32.9	23.0	34.5	27.2	22.2
D . I .	32.3	40.9	37.9	39.2	22.6	0.7	7.9	15.4	-5.6	0.0	1.8	17.6	1.1	5.4	11.5

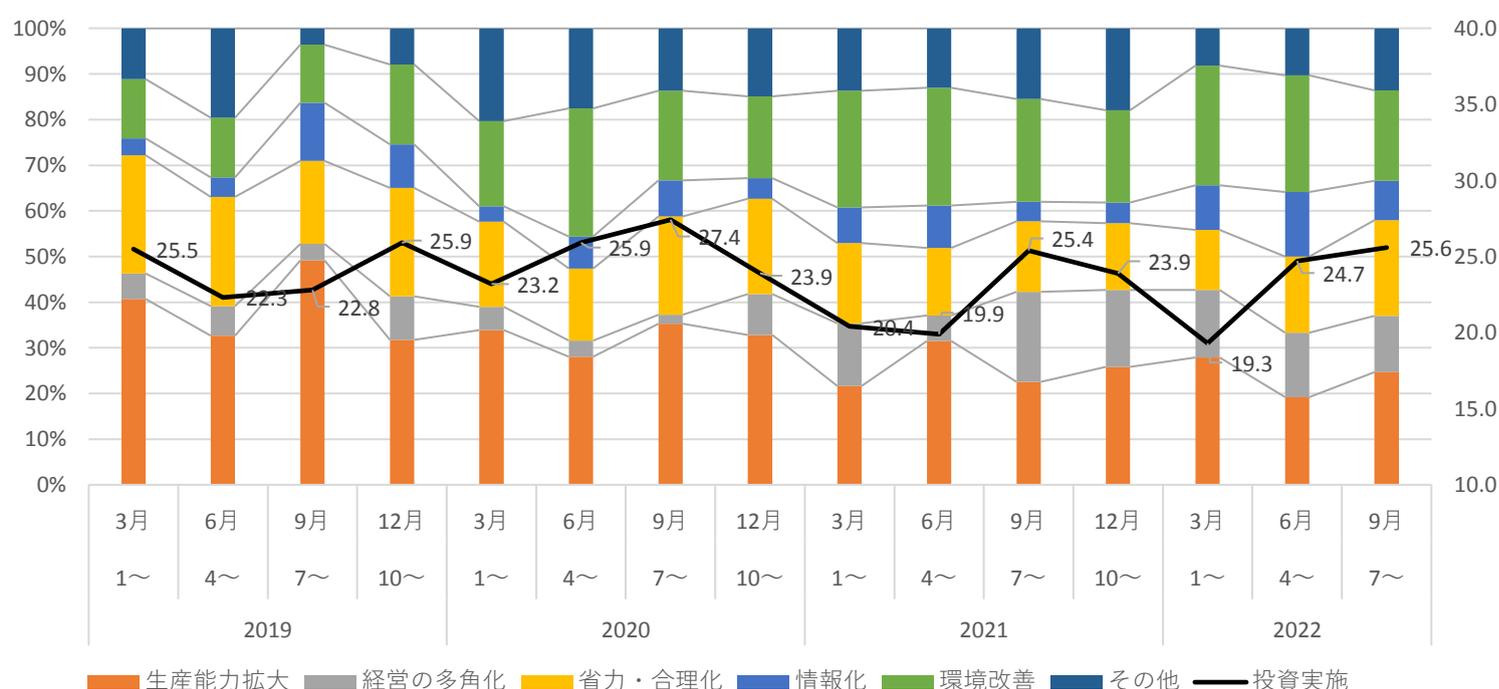


- (1) 1-3月の全産業の利益状況D. I. は前回比16.2ポイントの大幅な悪化となっています。内訳をみると、製造業は15.8ポイント、非製造業は16.5ポイントのいずれも大幅な悪化となっています。4-6月、7-9月の全産業の利益状況D. I. は改善見通しとなっています。このうち非製造業は改善見通しですが、製造業は4-6月に悪化が続いて7-9月に回復する予想となっています。

## VI. 設備投資動向

	2019												2020				2021				2022			見込	予測
	1～3月			4～6月			7～9月			10～12月			1～3月		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	4～6月	7～9月		
	投資実施	25.5	22.3	22.8	25.9	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	23.9	19.3	24.7	25.6									
投資せず	74.5	77.7	77.2	74.1	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	76.1	80.7	75.3	74.4										

	2019												2020				2021				2022			見込	予測
	1～3月			4～6月			7～9月			10～12月			1～3月		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月	4～6月	7～9月		
	生産能力拡大	40.7	32.6	49.1	31.7	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	25.8	27.9	19.2	24.7									
経営の多角化	5.6	6.5	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	16.8	14.8	14.1	12.3										
省力・合理化	25.9	23.9	18.2	23.8	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	14.6	13.1	16.7	21.0										
情報化	3.7	4.3	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	4.5	9.8	14.1	8.6										
環境改善	13.0	13.0	12.7	17.5	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.2	26.2	25.6	19.8										
その他	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	17.9	8.2	10.3	13.6										

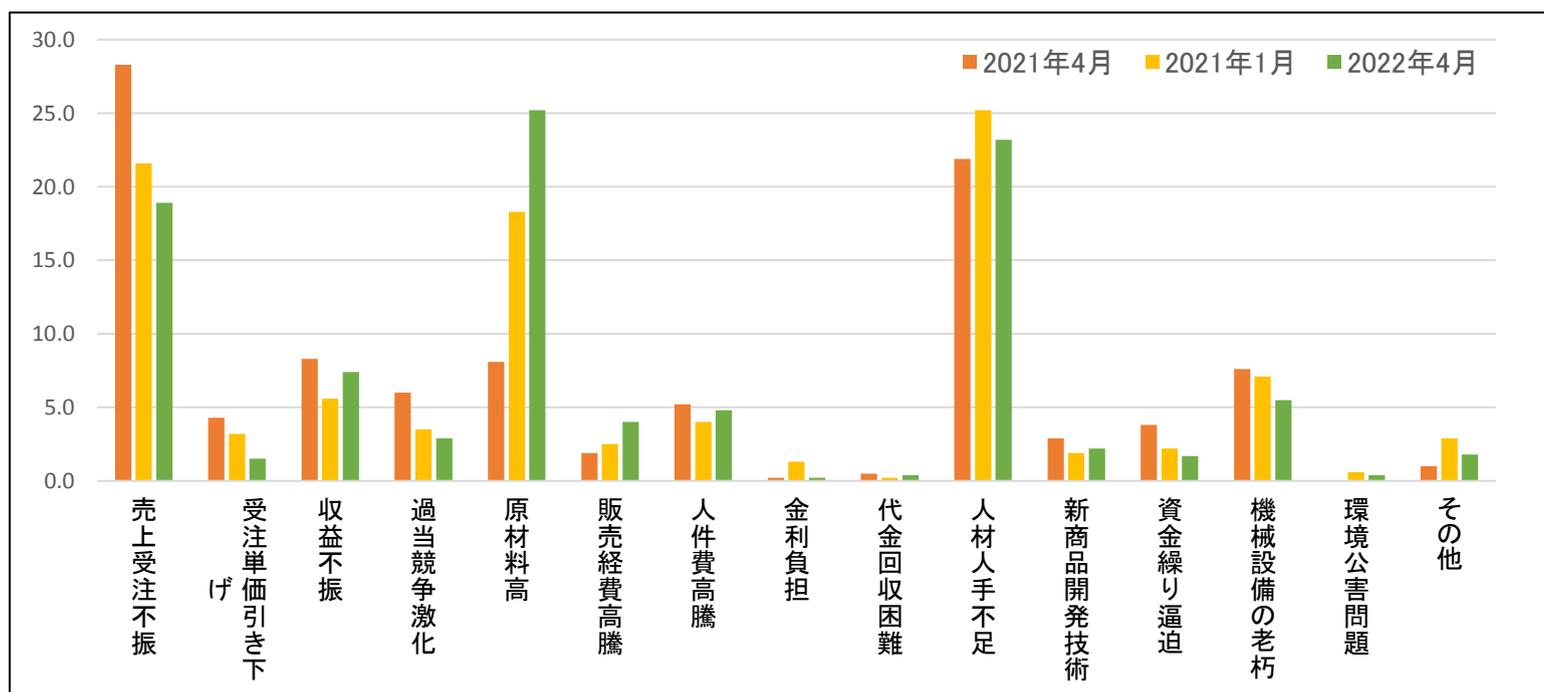


- (1) 設備投資を実施した企業は19.3%となり、前回比マイナス4.6ポイントとなっています。設備投資を実施した目的については、「生産能力拡大」が27.9%、次いで「環境改善」が26.2%と高くなっています。「環境改善」については2019年7～9月まで10%前半台でしたが、2021年以降は20%を上回って推移しており、取組みが進んでいると言えます。

## VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	2021年4月 (前年同月)	2021年1月 (前回)	2022年4月 (今回)		前回は増減	
			(うち製造業)	(うち非製造業)		
売上受注不振	28.3	21.6	18.9	(20.8)	(18.5)	-2.7
受注単価引き下げ	4.3	3.2	1.5	(2.1)	(1.3)	-1.7
収益不振	8.3	5.6	7.4	(6.3)	(7.6)	1.8
過当競争激化	6.0	3.5	2.9	(1.0)	(3.3)	-0.6
原材料高	8.1	18.3	25.2	(32.3)	(23.7)	6.9
販売経費高騰	1.9	2.5	4.0	(2.1)	(4.5)	1.5
人件費高騰	5.2	4.0	4.8	(2.1)	(5.4)	0.8
金利負担	0.2	1.3	0.2	(0.0)	(0.2)	-1.1
代金回収困難	0.5	0.2	0.4	(0.0)	(0.4)	0.2
人材人手不足	21.9	25.2	23.2	(16.7)	(24.6)	-2.0
新商品開発技術	2.9	1.9	2.2	(2.1)	(2.2)	0.3
資金繰り逼迫	3.8	2.2	1.7	(2.1)	(1.6)	-0.5
機械設備の老朽	7.6	7.1	5.5	(10.4)	(4.5)	-1.6
環境公害問題	0.0	0.6	0.4	(0.0)	(0.4)	-0.2
その他	1.0	2.9	1.8	(2.1)	(1.8)	-1.1



- (1) 当面の経営上の問題点として「原材料高」が最も多くなっており、25.2%となっています。対前年比ではプラス17.1ポイント、対前回はプラス6.9ポイントと影響が拡大しています。
- (2) 次いで多い「人材人手不足」については、23.2%で高止まりが続いています。一方、「売上受注不振」については18.9%で、前回はマイナス2.7ポイントと減少傾向が続いています。